

JAグループ広島東日本大震災支援隊 第一班（福島県）支援活動～絆～情報

平成25年9月18日

情報No.1

農業協同組合 御中

農業協同組合連合会 御中

JAグループ広島東日本大震災復興・再建対策本部

(JA広島中央会 総務部)

支援活動状況について

活動日	平成25年9月17日（火）	天気	晴れ
活動場所	活動内容のとおり		
活動概要	<p>「平成25年度 東日本大震災たすけあい運動支援隊」第一班が活動を開始した。</p> <p>第一班は、JA広島市、JA広島ゆたか、JA安芸、JA佐伯中央、JA呉、JA広島中央、JA芸南、JA広島信連、広島果実連、基金協会、農協観光、中央会の計24名による構成である。</p> <p>第一班は、9月16日に福島に向け、広島を出発したが、台風18号の影響による新幹線の遅延等で、福島入りまで12時間という長旅となった。</p> <p>活動1日目となった17日は、今回お世話になるJA新ふくしま本店へ向かい、JA新ふくしまの菅野組合長より、 「福島の安全、安心な食品を消費者に届けるための取り組みを、現場の中で見て、広島へ帰ってから多くの人へ伝えていただきたい。」 旨の挨拶をいただいた。</p> <p>また、3日間の概要の説明について、企画広報室 佐藤部長様より説明を受けたのち、（株）新ふくしまファームと果樹共選場のそれぞれで現場支援を行った。</p>		

(1) (株)新ふくしまファーム

(メンバー：広島市、広島ゆたか、信連、広果連、基金協会、農協観光)
新ふくしまファームでは、除塩のために植えられた綿花の見学を行った後、

①台風の影響で枝が曲がった茄子の収穫

②収穫した茄子の選別、袋詰め

③ビニールハウス内にて、シーズンを終えたきゅうりの根をとりのぞく作業

の3つにわかれて作業を行った。



(2) 果樹共選場

(メンバー：安芸、佐伯中央、呉、広島中央、芸南、中央会)

果樹共選場は、野田果樹共選場、西部果樹共選場の2ヶ所にわかれて作業を行った。

桃のシーズンが終わった今の時期は、農家から朝収穫した梨が運ばれてきたものを選果している。

ところが、この度の台風の影響で、梨の多くが落果したとのことから、本日は通常よりも出荷されてきた梨が少なく、選果作業自体も予定よりも早く終了した。



野田共選場の班員は、作業が14時近くには完全に終了したために、新ふくしまファームの支援隊員と合流し、合同で作業を行った。

西部共選場においても、選果作業自体は14時近くで終了し、その後は、贈答用の梨のパッケージ作業、選果され箱詰めされた段ボールの移動作業を行った。



2日目となる18日は、メンバーを入れ替えて、1日目と同じ場所で、作業を行う予定である。